

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	西平井・鱒ヶ崎地区汚水整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課				
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	池田 輝昭				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	西平井・鱒ヶ崎地区および鱒ヶ崎・思井地区の公共下水道(汚水)の利用者	意図	土地区画整理事業の進捗に合わせた公共下水道整備の推進。
事業内容	江戸川左岸流域関連公共下水道(汚水)のうち、西平井・鱒ヶ崎および鱒ヶ崎・思井地区の整備を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	公共下水道へ接続する家屋等の増加により、河川へ流出する生活排水等が減少し水質向上が図られる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	各年度の整備面積	0.44	2.99	4.40	ha	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆区画整理の進捗に合わせて、下水道の整備を行っているため、区画整理事業者に事業の進捗が左右される。
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	55,014,000	50,002,100	123,581,600	
事業費(b)(円)	52,002,000	46,569,600	120,225,600	
うち一般財源				
職員給与費(c)(円)	3,012,000	3,432,500	3,356,000	
人役・職員(人)	0.40	0.50	0.50	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	西平井・鱒ヶ崎土地区画整理事業区域内の公共下水道整備を進めている。	③取組の課題	工事の進捗が、土地区画整理事業の進捗に左右されるため、次年度への繰越となる場合がある。
②今年度(H29)に実施した取組	西平井・鱒ヶ崎地区(40.8ha)の内1.60haの汚水管整備を行い、全ての整備が完了した。鱒ヶ崎・思井地区(11.8ha)の内、約2.8haの整備を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	鱒ヶ崎・思井地区の事業の進め方について、土地区画整理事業者と適宜協議し、無理のない、効率的な事業執行に努めていく。